

加賀製紙株式会社 環境行動計画

令和〇〇年〇〇月〇〇日

取組方針

加賀製紙株式会社は、古紙使用率が非常に高い資源循環型産業であることに誇りを持ち、省資源・省エネルギーの製品を供給できる板紙製造業として社会に寄与し続けることをテーマとして努力しています。

また、当社では環境保全が重要課題の一つであることを認識し、環境法令の順守及び環境負荷の低減、環境に配慮した技術・製品の開発、積極的な環境コミュニケーションを基本方針とし、事業活動を進めていきます。

私たちは事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取り組みを推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギー化と省資源化
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 危険物・化学物質による環境リスク問題への対策の推進
- ④ 地球温暖化防止対策の推進

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成22年12月25日

加賀製紙株式会社

代表取締役社長 中島 秀雄

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一1	二酸化炭素の総排出量を、R元年度（21,824,137kg-CO ₂ ）を基準としてR3年度までに2%削減する（21,387,654kg-CO ₂ ）
具体的な取組	<p>（事業所または工場・施設での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① RPF ボイラーの安定稼働により予備機のA重油の使用を減らす ② 抄紙機において高性能面圧脱水装置導入による省蒸気化を検討する ③ 抄紙機ドライヤーフードを高露点フードに更新する ④ 発電設備の増強により買電量を減らす ⑤ ポンプ、モーター等を高効率な製品に更新する ⑥ バッチ運転を行う設備の交互運転による電力消費の平準化を図る ⑦ 水銀灯など照明のLED化を進める

目標一2	廃棄物の生産高当たりの排出量を、R元年度（0.120トン/トン）を基準としてR3年度までに3%削減する（0.116トン/トン）
具体的な取組	<p>（事業所または工場・施設での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 原料中の異物選別工程を見直し、歩留まり向上を図る ② 抄紙機からの排水（白水）中の原料を回収し再利用する ③ 排水処理設備の効率的な運転により廃棄物の性状安定化を図る ④ 廃プラスチック等のRPF化による廃棄物排出量の削減を検討する ⑤ 詰め替え可能な製品や簡易包装の製品を優先的に購入する ⑥ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める

目標一3	水の総使用量を、R元年度(3,935,639 m ³)を基準としてR3年度までに3%削減する(3,817,570 m ³)
具体的な取組	(事業所または工場・施設での取組) ① 原料中の異物選別工程を見直し節水を図る ② 抄紙機からの排水(白水)を原料調成工程で再利用する ③ 井戸ポンプの運転方法を見直し効率的な水利用を行う ④ 配管からの漏水を定期的に点検する

目標一4	環境保全に関する社内の取り組み体制の構築を行う
具体的な取組	(事業所または工場・施設での取組) ① FSC 認証を受けた製品の販路拡大を行う ② 環境関連のセミナーに参加する ③ 会社の敷地内の緑化を行う ④ 会社周辺の清掃活動を行う ⑤ 廃棄物はできるだけ分別して廃棄する ⑥ 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を徹底する

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、工場長(環境管理責任者)を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。

また、半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。